



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ウ ィ ル グ ル ー プ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 角 裕 一  
(コード番号：6089 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 高 山 智 史  
(TEL. 03-6859-8880)

## 2027 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 連 結 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2026 年 5 月 14 日に公表しました 2027 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 連 結 業 績 予 想 の 修 正 を 決 議 し ま し た の で、下 記 の と お り お 知 ら せ し ま す。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

(1) 2027 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 連 結 業 績 予 想 の 修 正 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

|                                         | 売上収益   | 営業利益   | 税引前利益  | 中間利益   | 親会社の所有者<br>者に帰属する<br>中間利益 | 基本的<br>1 株当たり<br>中間利益 |
|-----------------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------------------------|-----------------------|
|                                         | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円                       | 円 銭                   |
| 前回発表予想 (A)                              | 78,208 | 1,586  | 1,497  | 1,154  | 1,153                     | 50.33                 |
| 今回修正予想 (B)                              | 81,885 | 2,130  | 2,030  | 1,342  | 1,345                     | 58.70                 |
| 増減額 (B－A)                               | +3,677 | +544   | +533   | +188   | +192                      |                       |
| 増減率 (%)                                 | +4.7%  | +34.3% | +35.6% | +16.3% | +16.7%                    |                       |
| (参考) 前期連結実績<br>(2026 年 3 月 期 第 2 四 半 期) | 71,530 | 1,638  | 1,556  | 1,137  | 1,147                     | 50.11                 |

#### 2. 業績予想の修正理由

当第 2 四半期 (中間期) の売上収益につきましては、国内 Working 事業において、中期経営計画「WILL-being 2029」で最も注力している、エッセンシャル領域<sup>(※1)</sup>での正社員・外国人 HR ビジネスが堅調であることに加え、海外 Working 事業において為替レートが計画対比で円安に推移していることから、前回の予想を上回る見込みとなりました。

利益につきましては、売上収益の増加に加え、国内 Working 事業においては、エッセンシャル領域での正社員・外国人 HR ビジネスへの注力に伴い売上総利益が拡大しました。また、海外 Working 事業においては人材派遣・人材紹介ともに堅調に推移していることから、前回の予想を上回る見込みとなりました。

(※1) エッセンシャル領域：社会生活を維持するために必要不可欠、かつ AI 代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。

当第 3 四半期以降につきましては、国内 Working 事業において、概ね堅調な事業環境が継続し、エッセンシャル領域における正社員・外国人 HR ビジネスへの注力を背景に、売上収益及び営業利益は堅調に推移する見通しです。また、海外 Working 事業においても、各国の事業環境を踏まえ、収益

性を重視した事業運営を継続していきます。一方で、当社は収益拡大に応じて成長投資を積極的に実施する方針であることに加え、為替動向などを総合的に勘案し、通期業績予想は据え置いています。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上